

□アフターサービス

(1) 保証書(別に添付してあります)

保証書は販売店からお渡し致しますから、必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

保証期間 — お求めの日から1年間です。

(2) 11ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」に従って調べていただき、なお異常あるときには、必ずガス元せん・給水元せんを閉めてから、お買い求めの販売店にご連絡ください。保証書の記載内容により、販売店が修理致します。

<連絡していただきたい内容>

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・品番・ご購入日(保証書をご覧ください)
- 故障内容・異常の状況(できるだけ詳しく)
- 訪問ご希望日

(3) 保証期間経過後、修理を依頼されるとき

お買い求めの販売店に、まずご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理致します。

(4) 補修用性能部品の最低保有期間

ガス給湯ふろユニットの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

(5) 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な点は

お買い求めの販売店、または最寄りの「ご相談窓口」(別紙一覧表ご参照)にお問い合わせください。

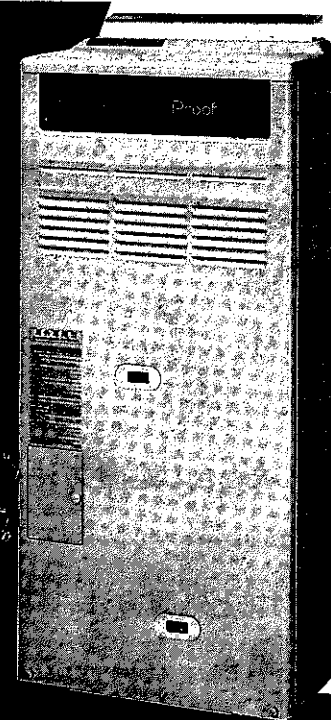
(6) ガスの種類の異なる地域へ転居されるとき

ガスの種類は、LPガス、都市ガス(都市ガスには14種類あります。)があります。ガスの種類の異なる地域へ転居される場合には、改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は保証期間内でありましても有料です。

取扱説明書(工事説明書別添)

ご使用前にこの説明書と別冊の「工事説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■保証書(別添)はお求めの販売店からお受取りのうえ、内容をよくご確認いただき、後々のためこの説明書とともに大切に保存してください。



松下電器産業株式会社
 松下住設機器株式会社 ガス機器事業部
 所在地 〒639-11 奈良県大和郡山市筒井町800番地
 電話 大和郡山 (07435)-6-1121(大代表)

Y1179-2



このたびはナショナルガス給湯ふろユニットをお求め
いただきまして、まことにありがとうございました。

目 次

■特に注意していただきたいこと	1
■各部の名称	3
■設置	4
■使用方法	5
■安全装置が作動したときの処置方法	9
■日常の点検・手入れ	9
■故障・異常の見分け方と処置方法	11
■長期間使用しない場合	11
■仕様	12
■外形寸法図	13
■アフターサービス	14

■特に注意していただきたいこと

■使用ガスについてのご注意

- 器体(給湯マークまたは銘板)に表示してあるガス(ガスグループ)以外のガスでは使用しないでください。

[注] LPガス用の銘板は、器具内のしゃ熱板に、給湯マークおよび都市ガス用の銘板は器体の左側面に貼ってあります。

[注] この部分を必ずご確認ください。

[給湯マーク]

LPガス用		都市ガス用	
給湯・シャワー	1.35kg/h	ガス区分	
全ガス消費量	2.72kg/h	燃焼シヤワー	
		全ガス消費量	
		(kg/h)	

[銘板]

ガスふろ/シャワー		ガス/シャワー付ふろ/ガマ	
型式名	GF-GF-808(P)	型式名	SF-BC0(C)
ガス	GF-GF-808P		都市ガス用
ガス	GF-GF-808C	ガス区分	
型式名	GF-GF-808C	燃焼シヤワー	
		全ガス消費量	
		(kg/h)	
		松下住設機器株式会社	
		松下電器産業株式会社	

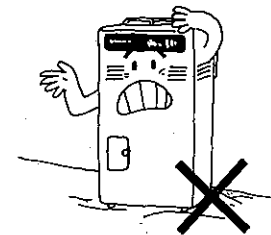
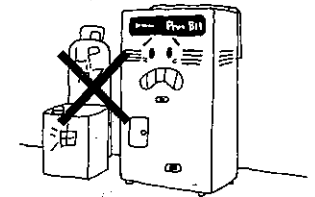
■市販の補助用具使用についてのご注意

- この器具用の付属品、補助用具以外は使用しないでください。
(不完全燃焼などの原因になります)
- 市販湯ぎめ防止器、または簡易シャワーセットなどを取り付けて使用しないでください。(不完全燃焼などの原因になります)

LPガス	4A・4B・4C
都市ガス	5A・5AN・5B・5C
(ガスグループ)	6A・6B・6C・7C
	11A・12A・13A

■使用場所についてのご注意

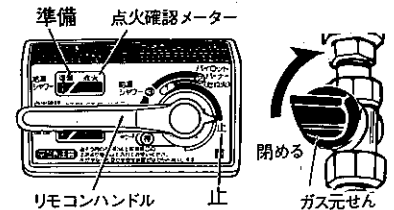
- 積雪で給気口および排気口がふさがれるおそれがあるときは、防雪の設備を行なってください。特に雪の多い地方では屋内設置をおすすめします。
- カーテンや燃えやすいもののそばでは使用しないでください。
- 家具、壁、その他の可燃物から十分離して使用してください。(詳しくは4ページをお読みください)
- 器具は水平なところに置いて使用してください。(傾斜していると、かま鳴りの原因になります)
- 屋内に器具を設置する場合、換気(給気・排気)が十分できるようにしてください。(詳しくは4ページをお読みください)



■使用上のご注意

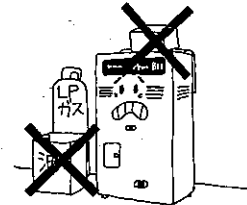
(1) ガス漏れ予防

- 使用時の点火・消火のほか、使用中には時どき正常に燃焼していることを確かめてください。
- 使用後は必ずリモコンハンドルを「止」の位置までいっぱいにもどし、消火したことを確かめてください。
(給湯、およびふろの点火確認メータの針が「準備」の位置にあれば消火しています。)
- 就寝時や外出の際は、ガス元せんは必ず閉めてください。

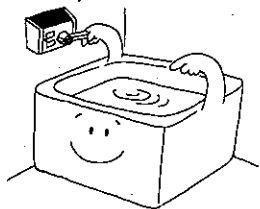


(2) 火災予防

- 器具の上や、周囲に燃えやすいものを置いたり、排気口・給気口をタオルなどでふさいだりしないでください。
(火災や不完全燃焼の危険があります)

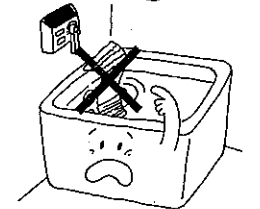


- 使用時の点火・消火のほか、使用中には時どき正常に燃焼していることを確かめてください。
- 火をつけたままの就寝・外出は絶対にしないでください。



(3) 過熱防止

- ふろがまだ沸かずときには、浴そうに水が入っていることを確かめてから点火してください。
- 浴そうの循環口はタオルなどでふさがないようにしてください。

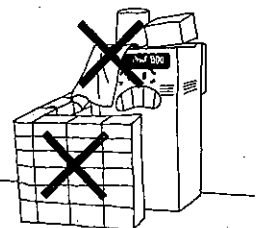


(4) 火傷にご注意

- ふろがま、またはシャワー（給湯）を使用中および使用直後は、排気口や器具本体は高温になっていますので、絶対に手を触れないでください。

(5) 換気にご注意

- 器具を屋内に設置する場合、必ず換気口（給気口・排気口）および二次排気筒を取り付けてください。
- 換気口（給気口・排気口）のまわりを物などでふさがないようにください。
- 器具を屋外に設置する場合、排気口および給気口のまわりに物などを置いたり、ブロックなどでかこったりしないでください。
(不完全燃焼の危険があります)



(6) ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、すぐにガス元せんおよび給水元せんを閉め、窓や戸を全部開けて、お求めの販売店かガス会社に連絡してください。
- [注] 万一、ガス漏れしたときは、電気のスイッチの「入・切」や、マッチ・ライターの使用は爆発の危険性がありますので絶対に避けてください。

(7) 凍結についてのご注意(暖かい地域でご使用のお客様も必ずお読みください)

- 冬期は凍結による器具の破損を防止するため、水抜きを行なうとともに、浴そうの湯は使用したその日のうちに抜いてください。(詳しくは8ページをお読みください)

(8) 健浴剤や洗剤についてのご注意

- 硫黄・酸・アルカリを含んだ健浴剤や洗剤は熱交換器が腐食する原因となりますので、使用しないでください。

(9) 異常時の処置

- 万一、異常をおこしたときや緊急の場合、あわてずにリモコンハンドル、ガス元せんおよび給水元せんを閉めて、お求めの販売店かガス会社に連絡してください。

■日常の点検・手入れ

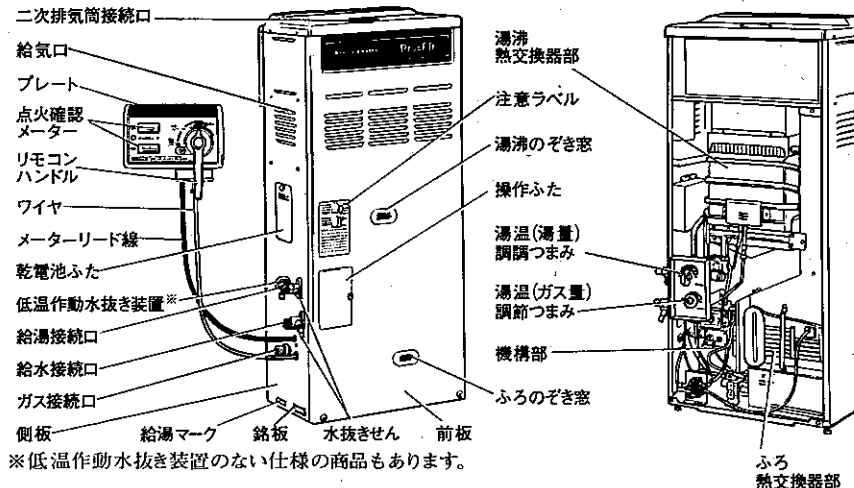
- 日常の点検・手入れは必ず行なってください。(詳しくは9ページをお読みください)
- 故障または破損したと思われるものは使用しないでください。万一、具合が悪くなって処置に困るような場合は、お求めの販売店に修理を依頼してください。

■器具の設置について

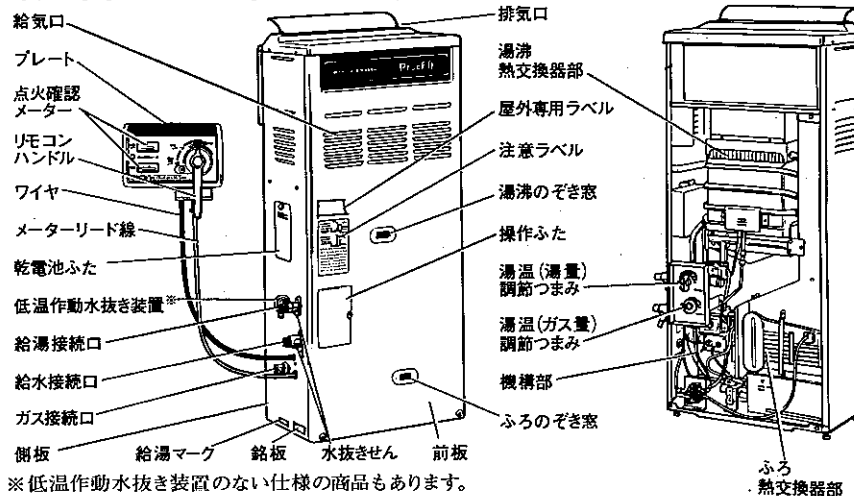
- 器具の設置はお求めの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置してください。
- 正しく設置されているか確認してください。(詳しくは4ページをお読みください)

■各部の名称 この項はGF-808CとGF-808Rとは一部名称が異なります。

■GF-808C屋内専用型の各部の名称



■GF-808R屋外専用型の各部の名称



■付属部品 下記の付属部品を本体と一緒に同梱しています。

部 品 名	数 量	部 品 名	数 量	部 品 名	数 量		
循環パイプ	2	器具固定部	φ5×12 ナベ小ねじ	4	リモコン部	φ4×10 セムスねじ	5
接続ゴム	2		φ4×20 木ねじ	4		カセット	1
接続バンド	4		プラグ	4		カバー	1
器具固定部	固定金具A	2	リモコン部	リモコン	1	ナット	1
	固定金具B	2		φ4×20 木ねじ	4	カセット取付板	1
	φ4×10 トラスねじ	6		結束バンド	2	電池部	単1形マンガン乾電池

[注] 上記の付属部品が入っているか確かめてください。

■設置

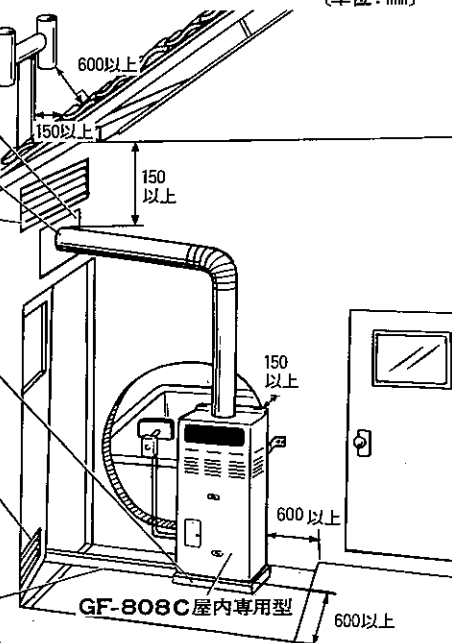
この項はGF-808CとGF-808Rとは設置方法が異なります

- 器具の設置はお求めの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置してください。
- 器具は屋内専用型(GF-808C)と屋外専用型(GF-808R)とがあります。屋内に設置する場合は屋内専用型(GF-808C)、屋外に設置する場合は屋外専用型(GF-808R)を必ず使用してください。

■GF-808C屋内専用型の設置例

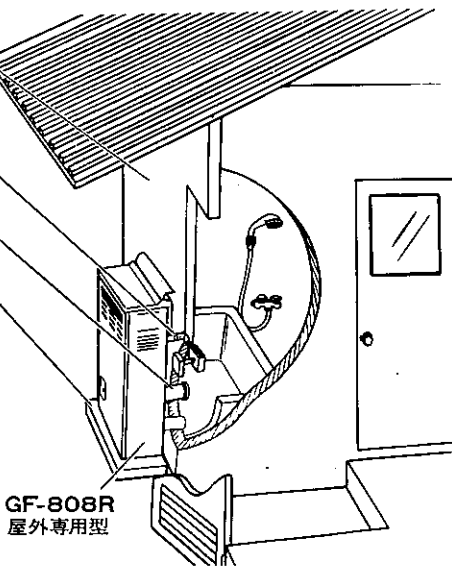
[単位:mm]

- 二次排気筒の周囲は10cm以上の厚さのめがね石などの熱絶縁体で熱絶縁してありますか。
- 二次排気筒の横引きが先上がり勾配になっていますか。
- 有効面積260cm²以上の換気口(排気口)が取り付けられていますか。
- 循環パイプは浴そうに向かって末広がりになっていますか。
- 器具が木台などの可燃材の上に置かれていませんか。
(必ず水平なコンクリートなどの不燃材の上に置いてください。)
- 有効面積260cm²以上の換気口(給気口)が下にも付いていますか。
- 器具のそばには何も置かないでください。
- LPガスの場合50kg型のガス容器が使われていますか。
- 低温作動水抜き装置から出る水の排水溝が設けられていますか。



■GF-808R屋外専用型の設置例

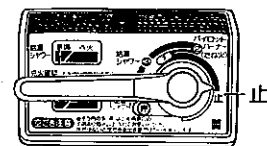
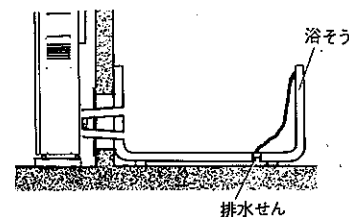
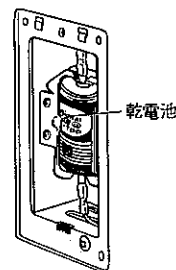
- 壁は、コンクリート、ブロックなどの不燃材が使われていますか。
- LPガスの場合50kg型のガス容器が使われていますか。
- 器具転倒防止処置がしてありますか。
- 循環パイプは浴そうに向かって末広がりになっていますか。
- 器具が木台などの可燃材の上に置かれていませんか。
(必ず水平なコンクリートなどの不燃材の上に置いてください。)
- 器具のまわりに物などを置いたり、ブロックなどでかこったりしていませんか。
(まわりをかこわないでください)
- 積雪で給気口および排気口がふさがれるおそれがあるときは、防雪の設備を行ってください。
特に雪の多い地方では屋内設置をおすすめします。



■使用方法

■点火前の準備と確認

- 乾電池が電池ケースに入っているか確かめてください。
- 器具のそばに油類、ガス容器など燃えやすいものが置いてないか確かめてください。
- 浴そうに水または湯を入れるときは、浴そうの排水せんが確実に閉まっているか確かめてください。
- リモコンハンドルが「止」の位置にあることを確かめたのち、ガス元せんおよび給水元せんをいっばいに開けてください。
[注] 給湯せん、シャワーせん、水抜きせん、および他の給湯せんは閉めておいてください。



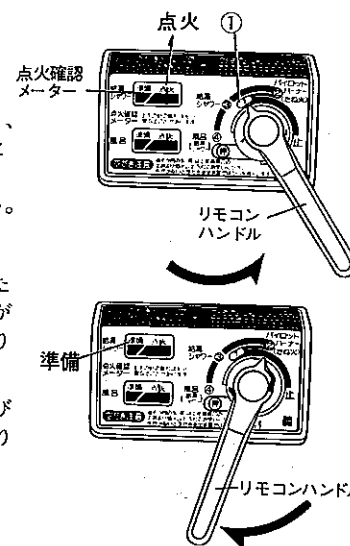
■点火

●パイロットバーナー(たね火)の点火

リモコンハンドルを「①」の方向へ止まるまで回し、回した方向に力を加えたまま上および下の点火確認メーターの針が「点火」位置に達しているのを確かめたのち、「②」の位置までもどしてください。

[注]

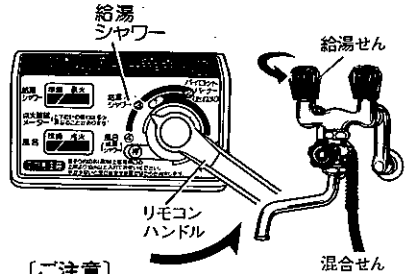
- リモコンハンドルを「②」の位置までもどしたとき、上または下の点火確認メーターの針が「準備」位置にもどる場合は、点火操作を繰り返してください。
- 点火確認メーターの上(給湯・シャワー)および下(風呂)の針の振れは多少異なることがありますが異常ではありません。



■給湯

●給湯・シャワーの使い方

給湯またはシャワーを使うときは、リモコンハンドルを「給湯・シャワー」の方向へ止まるまで回し、給湯せんまたはシャワーせんをいっばいに開けますと、湯沸器のメインバーナーに火がつき、湯が出ます。



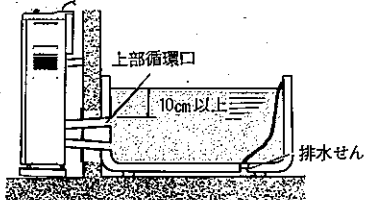
【ご注意】

- ふろを長時間使用したあと、シャワーを使いますと、はじめに熱い湯が出ますので、出はじめの湯は絶対に身体に当てないでください。
- 給湯せん、シャワーせんの開閉操作をひんぱんに連続して行なうと消火したり、異常燃焼をおこすおそれがありますので、連続して行なわないでください。
- 複数の給湯せんを同時に開けますと、各々の湯の出る量は少なくなります。特にシャワーを使っているときは、給湯せんを開けることは避けてください。
- 器内に長時間たまっていた水は飲用、または調理に用いないでください。

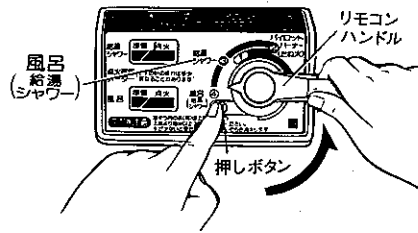
●給湯・シャワー・ふろの使い方

給湯またはシャワーとふろを同時に使うときは、

- ①浴そうの排水せんがきちんと入っているか、浴そうに水(湯)が上部循環口上端より10cm以上入っているかを確かめてください。



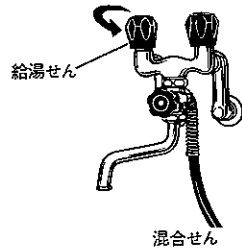
- ②押しボタンを押したまま、リモコンハンドルを「風呂(給湯・シャワー)」の方向へいっばいに回しますと、ふろのメインバーナーに火がつき、ふろを沸かします。



【注】

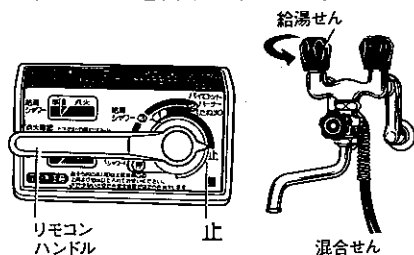
- 水(湯)が少ないと、空だき安全装置が作動しガスを止めますが、空だきは器具の寿命をいちじるしく短くしたり、浴そうをいためたりしますので、必ず水(湯)が上部循環口上端より10cm以上入っているか確かめてください。
- 給湯せんまたはシャワーせんを開ければ、ふろだけ沸きます。

- ③給湯せんまたはシャワーせんをいっばいに開けますと、湯沸器のメインバーナーに火がつき、湯が出ます。



●冷水シャワーの使い方

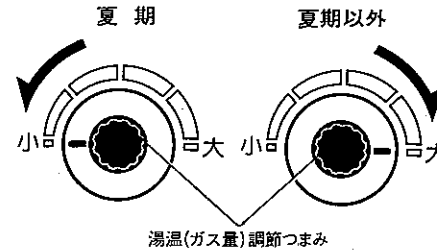
夏期など冷水シャワーを使いたいときは、リモコンハンドルを「止」のままにし、シャワーせんを開けてください。



■湯温調節

ガス量調節

- 水温が高い場合(夏期)は湯温(ガス量)調節つまみを「小」に合わせ、それ以外のときは「小」から「大」の範囲に合わせてください。

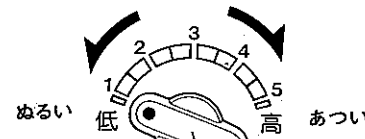


【注】

- 左に回すとガス量が少なくなり、ぬるい湯が出、右へ回すとガス量が多くなり、熱い湯が出ます。
- 必ず湯温を確かめ、湯温が安定してから(特にシャワー使用の場合)使ってください。

湯量調節

- 湯量で湯温を調節されるときは、湯温(湯量)調節つまみで調節してください。



- 点検・手入れの前には、湯量調節つまみの位置にし、器具が冷え
- 安全装置、およびガスの

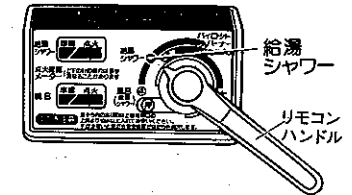
■点検

- 器具のまわりに燃えやす
- 器具の下、周囲などに、
- 二次排気筒がはずれてい
- 二次排気筒および器具の
- 器具の空気取入口(給気口)
- 器具の空気取入口(給気口)
- パイロットバーナー(たね

■消火

●ふろの消火

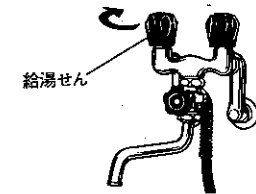
リモコンハンドルを「給湯・シャワー」の位置にもどしますと、ふろのメインバーナーの火が消えます。



【注】 ふろおよび湯沸器のパイロットバーナー(たね火)だけが燃え続けます。

●給湯・シャワーの消火

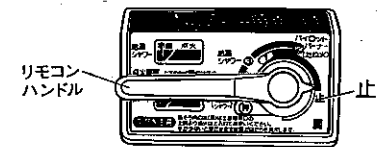
給湯せんまたはシャワーせんを閉めますと、湯沸器のメインバーナーの火が消えます。



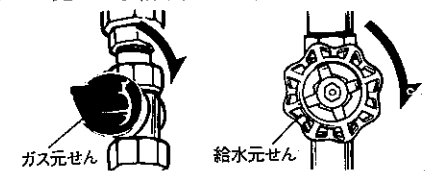
【注】 ふろおよび湯沸器のパイロットバーナー(たね火)だけが燃え続けます。

●パイロットバーナー(たね火)の消火

リモコンハンドルを「止」の方向までいっばいにもどしますと、パイロットバーナー(たね火)は消えます。



- ガス元せんと給水元せんを閉めてください。



【注】 特に就寝前と外出時には、ガス元せん、給水元せんが閉まっていることを確かめてください。

■凍結防止のための水抜きのかた

●冬期は寒冷地だけでなく、暖かい地方でも急な寒波のために湯沸器の熱交換器など通水部内の水が凍って、器具を破損することがありますので、凍結防止のため水抜きを必ず行なってください。

●凍結すると

器具や給湯配管が破損して、水漏れをおこしたり、湯沸器が異常(空だきなど)をおこす危険性があります。

●水抜き方法

水受け(容器)を器具の下に置いて、右図を見ながら、次の順序で行なってください。

- ①リモコンハンドル①を「止」にする。
- ②給水元せん②をしっかり閉める。
- ③給湯せん③、またはシャワーせん(シャワーを取り付けている場合)を全部開ける。
- ④水抜きせん④⑤を開ける。
- ⑤シャワーヘッド⑥を床面までさげ、ホース内の水も抜く。
- ⑥水抜きせん④⑤、給湯せん③、またはシャワーせんは、次にお使いになるまでは、そのままゆるめた状態にしておいてください。

●水抜き後の使用方法

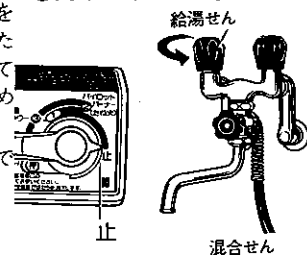
- ①水抜きせん④⑤を元通りしっかり閉める。
- ②ガスを止めた状態で、給水元せん②を開け、シャワーヘッド⑥、および給湯せん③から水が出るのを確かめてください。
- ③必ず給湯せん③、シャワーせんを閉め、5～7ページの「使用方法」に従ってお使いください。

●もし凍結したときは(冬期は凍結により、給湯せんから水が出ないことがあります。必ず水が出ることを確かめてからお使いください。)

[注]

- 凍結により水が出ないときは、使用をひかえ(ガスは止めた状態で)、給湯せんを開け、水が出るまで待つか、凍った部分がわかれば、ぬるま湯をかけて溶かし、給湯せんから水が出るのを確かめてからお使いください。
- 水抜きを忘れていたり、十分でない場合には凍結により器具が破損していることがあります。通水後に器具や給湯・給水配管から水漏れするなどの異常がある場合は、お求めの販売店まで連絡してください。

シャワーを使いたいときはハンドルを「止」のままにし、シンを開けてください。



■低温作動水抜き装置*

●低温作動水抜き装置のある仕様の商品は、給水元せんを開けたままの状態、上記の水抜き操作を万一忘れられた場合で、かつ気温が0℃近くになりますと装置が働いて少量の水が出ます。これは熱交換器の凍結を防止するためのものですので、異常ではありません。

●この装置の作動範囲は、無風時において-10℃までで通常は、必ず上記の水抜き操作を行なってください。

[注] 給水元せんを閉めた場合、効果はありません。

*低温作動水抜き装置のない仕様の商品もあります。

■安全装置が作動したときの処置方法

■処置について

リモコンハンドルで点火操作をしても、給湯・シャワーおよびふろがまのパイロットバーナー(たね火)に点火しなかったり、使用中に給湯・シャワーまたはふろがまのメインバーナーが消火してしまったときは、次の方法、ならびに11ページ「故障・異常の見分け方と処置方法」により処置してください。

■パイロット安全装置

- 使用中に、万一パイロットバーナー(たね火)の炎が風などで消えた場合や、ガスの供給が止まったときには、パイロット安全装置が働いて自動的にガスが止まります(約1分後)ので、そのままでは使用できません。
- パイロットバーナー(たね火)の消火に気づいたときは、すぐにリモコンハンドルを「止」の位置までいっばいにもどし、給湯せんまたはシャワーせんを閉めてください。
- 再点火されるときは、器具内に残ったガスが十分排出されるのを待ってから(約15分後)、注意して点火操作を行なってください。
[注] すぐに点火操作しますと爆発着火するおそれがありますので危険です。

■空だき安全装置

- 排水せんなどからの水漏れにより、ふろがまが空だきしたとき、熱交換器の温度上昇を感知して空だき安全装置が働き、ふろがまのパイロットバーナー(たね火)およびメインバーナーの火が消えます。
再点火されるときは、器具が自然に冷えるのを待ってから、浴そうの排水せんを確実に閉め、上部循環口上端より10cm以上入れて点火操作を行なってください。
- うっかりふろがまのメインバーナーを消し忘れて、浴そうの湯が沸騰状態になったときも空だき安全装置が働くことがあります。

■過熱防止装置

- 使用中、器具に異常が生じ器具内の温度が異常にあがったとき、自動的に過熱防止装置が働いて湯沸器のパイロットバーナー(たね火)、およびメインバーナーの火が消えます。
- 過熱防止装置が作動したと思われるときは、ガス元せん、給水元せんを閉め、お求めの販売店にご相談ください。

■日常の点検・手入れ

■点検・手入れの際のご注意

- 点検・手入れについては、次項の点検・手入れを行ない、もし異常を見付けられたら、お求めの販売店に修理を依頼してください。
- 点検・手入れの前には、必ずガス元せん、給水元せんを閉め、リモコンハンドルを「止」の位置にし、器具が冷えてからお手入れをしてください。
- 安全装置、およびガスの通路部分は絶対に分解しないでください。

■点検

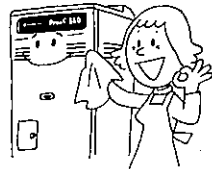
- 器具のまわりに燃えやすいものはありませんか。
- 器具の下、周囲などに、ちり・ほこりなどがたまっていませんか。
- 二次排気筒がはずれていたり、損傷したり、詰まったりしていませんか。
- 二次排気筒および器具の排気口がススけて、黒くなっていませんか。
- 器具の空気取入口(給気口)がタオルなどでふさがっていませんか。
- 器具の空気取入口(給気口)の高さまでブロックベ이가きていませんか。
- パイロットバーナー(たね火)またはメインバーナーが赤火燃焼していませんか。

●リモコンハンドルを回したとき、プレートがリモコンハンドルと一緒に回りませんか。

■お手入れ

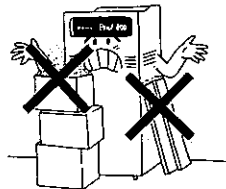
●器具外観のお手入れ

●器具外観の汚れは布に台所用洗剤を付けて、ふき取ってください。前面の表示板はシンナーや、ベンジンなどでふかないでください。印刷がはげてしまいます。また、磨き粉(砂)や金属タワシは使用しないでください。



●排気排出口(排気口) および空気取入口(給気口)のお手入れ

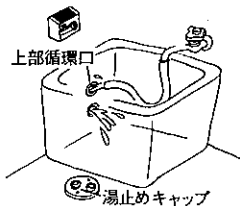
●器具の排気排出口(排気口)、および空気取入口(給気口)にちり・ほこりがたまらないようときどき掃除してください。



●ふろ用熱交換器のお手入れ

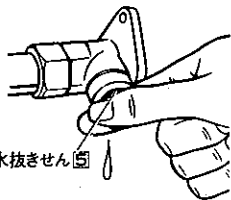
上部循環口の湯止めキャップをはずし、水道のホースの先を上下交互に入れ、水を勢よく出して、熱交換器内を洗ってください。

(熱交換器内には使用中の湯あかが付着します。半年に1回)程度お手入れを行なってください。



●水フィルターのお手入れ

使用後1~2カ月たちますと、配管内のごみが水フィルターにたまり、湯が出にくくなったり、メインバーナーに点火しなくなることがありますので、下記の順序に従って水フィルターを掃除してください。

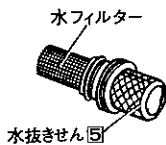


①給水元せんを閉めたのち、水抜きせん⑤取付具の下に洗面器などの水受けを置き、水抜きを行なってください。
(詳しくは8ページをお読みください)

②水抜きせん⑤をはずして、水フィルターを掃除してください。

③水抜きせん⑤を取り付ける前に給水元せんを少し開けて、配管内のごみを流したのち、水抜きせん⑤を取り付けてください。

[注] 水フィルターを変形させないでください。

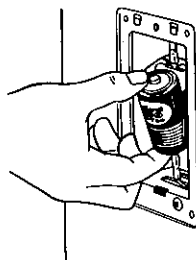


■点火用乾電池の入れ方

●乾電池は消耗品です。点火するときに放電回数(パチパチ音)が1秒間に1回程度まで遅くなりましたら、新しい乾電池(単1形マンガン乾電池)と取り替えてください。なお乾電池は同じ種類のものをご使用ください。
(電池は少なくとも1年に1回は取り替えてください)

●乾電池の入れ方は器具側面の乾電池ふたをはずし、⊕⊖を電池ケースの表示に合わせて正しく入れてください。い方を誤ると器具が正常に働かないばかりでなく、液漏れで製品が腐食したり、電池が破裂するおそれがあります。

[注] 乾電池は充電・ショート・加熱などをしないでください。また使用済のものは分解したり、火の中へ投入しないでください。



■故障・異常の見分け方と処置方法

現象 原因	メインバーナー										処理方法	参照ページ
	パイロットバーナー	着火しない、しにくい	使用中に消火する	異常な音をたてて燃える	沸き上がりが遅い	高温の湯が出ない、かま鳴りがする	低温の湯が出ない	高温の湯が出るが、低温では着火しない	給湯せんに開いても着火しない	リモコンハンドルを閉めても消火しない		
ガス元せんが閉まっている	*										ガス元せんを開ける	5
ガス元せんの開きが不十分	*	*			*	*					全開にする	5
ガスが無い(LPガス用)	*	*	*								販売店に連絡する	—
ガス圧が適切でない	*		*	*	*	*	*				販売店・ガス会社に依頼する	—
リモコンハンドルの開き不足	*	*			*						全開にする	5・6
点火装置の故障	*										販売店に依頼する	—
使用ガスと器具の銘板が不一致	*	*	*	*	*						販売店に連絡する	1
ガス管の中に空気が残っている	*										点火操作を繰り返す	5
乾電池の電圧消耗	*										乾電池を交換する	—
リモコンハンドルの保持不足	*	*									十分保持する	5
パイロット安全装置の故障	*								*		販売店に依頼する	9
空だき安全装置の故障			*								販売店に依頼する	9
過熱防止装置が作動	*	*	*								販売店に依頼する	9
給排気口の詰まり				*							販売店に依頼する	10
循環パイプ内に物が詰まっている						*					販売店に相談する	—
器具が傾いている						*					販売店に依頼する	—
給水元せんが閉まっている									*		全開にする	5
給水元せんの開きが不十分								*	*	*	全開にする	5
水圧が適切でない							*	*	*		販売店に依頼する	—
水フィルタの詰まり		*	*			*	*	*			詰まりを取り除く	10
配管の容量不足		*	*			*	*	*			販売店に依頼する	—
湯温調節が不適當						*	*				調節する	7
給湯せんの開き不足						*	*				全開にする	—
凍結している									*		解凍まで使用を中止	8

■長期間使用しない場合

●長期間使用しない場合は、器具の水抜きをしてから、ほこりや雨などがかからないように袋などでおおってください。また再使用するときは、必ず袋などを取ってから使用してください。(そのまま使用しますと事故の原因になります)

仕様

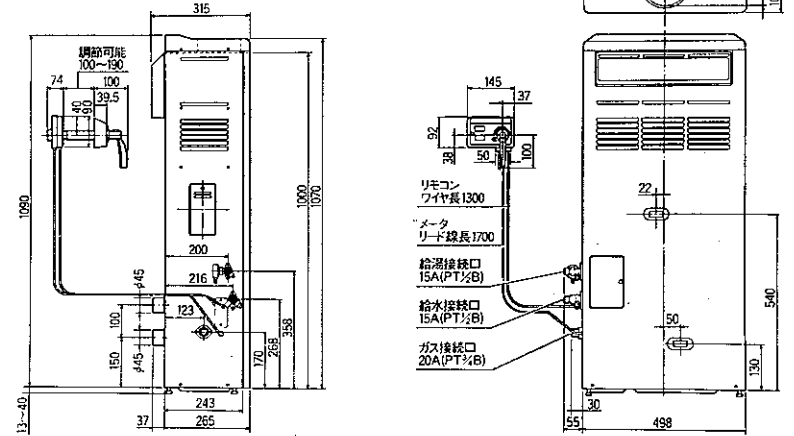
この項はGF-808CとGF-808Rとは一部外形寸法図が異なります。

器 種 名	給湯ふろユニット							
型 式 の 呼 び	GF-808C・GF-808R							
種 類 ・ 型 式	外 が ま	排気筒式給湯付ガスふろがま				ガス 接続口		
		屋外設置式給湯付ガスふろがま						
点 火 方 式	連続放電点火装置(乾電池方式)							
水 圧	使 用 水 圧	給湯: 0.5kg/cm ² 以上・シャワー: 0.8kg/cm ² 以上						
	最 低 作 動 水 圧	0.5kg/cm ²						
外 形 寸 法	高さ1140mm×幅498mm×奥行315mm (GF-808Rの場合)							
重 量 (本 体)	34kg							
循 環 管 取 付 口 径	φ45mm (外径)							
接 続	給 水	15A (PT $\frac{1}{2}$ B)				20A (PT $\frac{3}{4}$ B)		
	給 湯	15A (PT $\frac{1}{2}$ B)						
二 次 排 気 筒 径	φ140mm (内径) (排気筒式給湯付ガスふろがま)							
基 準 浴 そ う	容量200ℓ~300ℓ (1人~2人用)							
安 全 装 置	パイロット安全装置・空だき安全装置・過熱防止装置(163℃) 過圧逃がし弁・低温作動水抜き装置*・水抜きせん							
付 属 部 品	室内点火式リモコン(1式)・循環パイプ(2本)・接続ゴム(2コ) 接続バンド(4本)・本体固定金具(1式)・単1マンガン乾電池(1コ)							
使用ガス 使用ガスグループ	型式の呼び	1時間当りのガス消費量 (kcal/h)			出湯能力(ℓ/min) [水圧: 1kg/cm ²]		ガス 接続口	
		ふろがま	給湯	同時使用	大			
部 市 ガ ス 用	GF-808R(G)-A	4A・4B	8550	16000	23500	8.0	4.8	20A (PT $\frac{3}{4}$ B)
		4C	9000	16000	24000	8.0	4.8	
		5A	9630	16450	25100	8.2	4.9	
		5AN	9610	16000	24000	8.0	4.8	
		5B	9610	16300	25000	8.1	4.9	
		5C	9650	16500	25250	8.2	4.8	
	GF-808C(G) GF-808R(G)	6A	10000	16450	25500	8.2	5.1	
		6B	10000	16500	25700	8.2	5.0	
		6C	10000	16500	25700	8.2	5.0	
		7C	10200	16900	25950	8.4	5.2	
		11A	10000	16500	25700	8.3	5.1	
		12A	9700	15500	24400	7.5	4.7	
LPガス用	GF-808C(P) GF-808R(P)	0.83kg/h	1.35kg/h	2.12kg/h	8.2	5.0		

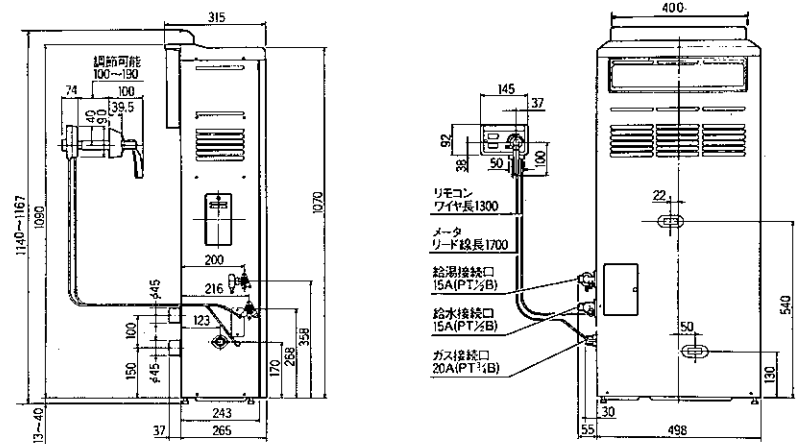
*低温作動水抜き装置の作動範囲は、無風時において-10℃までです。
低温作動水抜き装置のない仕様の商品もあります。

外形寸法図 (単位: mm)

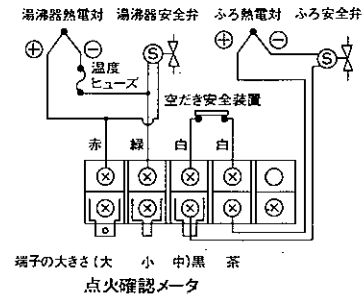
GF-808C屋内専用型の外形寸法図



GF-808R屋外専用型の外形寸法図



配線図



端子の大きさ(大 小 中)黒 茶
点火確認メータ